会報

第114号

公益社団法人
日本海海難防止協会

目　　次

Ⅰ　事　業　報　告
Ⅰ－１　委員会等開催
１　伏木富山港(伏木地区)大型客船入出港に係る航行安全調査
1－1　第１回委員会･･･ 1
1－2　ビジュアル操船実験･･･ 2
1－3　作業部会･･･ 2
1－4　第２回委員会･･･ 3
２　新潟港(東港)大型客船入出港に係る航行安全調査
2－1　第１回調査会･･･ 4
2－2　第１回ビジュアル操船実験･････････････････････････････････ 5
2－3　作業部会･･･ 5
2－4　第２回調査会･･･ 6
2－5　第２回ビジュアル操船実験･････････････････････････････････ 7
３　福井港堆砂対策計画に係る航行安全対策検討
3－1　第２回作業部会･･･ 7
3－2　第３回委員会･･･ 8
４　秋田港大型客船入出港に係る航行安全調査
4－1　ビジュアル操船実験･･･ 9
4－2　作業部会･･･ 9
4－3　第２回委員会･･･ 10
５　日本海中部海域における小型船舶の安全対策に関する調査研究(新潟県地区)
第２回委員会･･･ 11

Ⅱ　会　務　報　告
Ⅱ－１　平成 26 年度第２回理事会･････････････････････････････････13
Ⅱ－２　業 務 日 誌 抄･･･14
Ⅱ－３　業　務　予　定･･･15

Ⅲ　寄　稿　欄
舞鶴の神様たち（鵜葺草葺不合命（うがやふきあえずのみこと））･････････････････････････････････････16

Ⅳ　連　絡　事　項
☆会員名簿の変更 ･･･ 20

Ⅰ　事　業　報　告

Ⅰ－１　委員会等開催

１　伏木富山港（伏木地区）大型客船入出港に係る航行安全調査

1－1　第１回委員会

(1) 開 催 日：平成 27 年１月 13 日（火）
(2) 場　　所：富山市　ＡＮＡクラウンプラザホテル富山
(3) 出 席 者：別記のとおり
(4) 議　　題：
　① 大型クルーズ客船入港計画について
　② 調査検討の計画について
　③ 伏木富山港の現況について
　④ 航行環境について
　⑤ 操船に係る基礎的検討について
　⑥ 操船シミュレーションによる検討について

別　記

出席者名簿

（順不同・敬称略）

「委　員」

委員長	日當　博喜	海上保安大学校　名誉教授
	遠藤　　真	富山高等専門学校　教授
	久古　弘幸	一般社団法人日本船長協会　副会長
	神田　修二	伏木水先区水先人会　会長
	矢後　則男	伏木水先区水先人会　副会長
	針山　健二	伏木海陸運送株式会社　代表取締役社長
	矢富　邦昌	北陸海事株式会社　代表取締役社長

「関係官公庁」

伊藤　恒治	第九管区海上保安本部　交通部長
金谷　英明	〃　交通部　安全課　海務係長
福島　武人	伏木海上保安部長
峯吉　栄治	伏木海上保安部　交通課長
岸本　秀樹	〃　交通課　安全係長
山本　大志	北陸地方整備局　伏木富山港湾事務所長
舘下　　徹	〃　伏木富山港湾事務所　企画調整課長

「事務局」

桑島　　廣　　公益社団法人日本海海難防止協会　専務理事
安藤　眞博　　〃　　事業部長
高野　　修　　公益社団法人日本海海難防止協会　事業部　副部長
檜ヶ谷正道　　〃　　〃　　主任研究員
花棚　景子　　〃　　〃　　調査員
山田　福市　　株式会社ＭＯＬマリン　代表取締役専務
杉山　直樹　　〃　　海洋技術事業部
海洋技術コンサルティング一部主任研究員

1－2　ビジュアル操船実験

(1) 開 催 日：平成 27 年１月 26 日(月)～27 日(火)
(2) 場　　所：東京都　株式会社ＭＯＬマリン

1－3　作業部会

(1) 開 催 日：平成 27 年３月６日(金)
(2) 場　　所：富山市　富山県企業局
(3) 議　　題：
① 第１回委員会質疑・対応について
② ビジュアル操船実験結果について
③ 係留の安全性について
④ 航行安全対策案について

別　記

出席者名簿

(順不同・敬称略)

「委　員」

委員長　日當　博喜　　海上保安大学校　名誉教授
神田　修二　　伏木水先区水先人会　会長
矢後　則男　　伏木水先区水先人会　副会長

「関係官公庁」

佐藤　　博　　第九管区海上保安本部　交通部　安全課長
竹原　圭佑　　〃　　交通部　安全課　海務係
峯吉　栄治　　伏木海上保安部　交通課長
岸本　秀樹　　〃　　交通課　安全係長

「事務局」

桑島　　廣　　公益社団法人日本海海難防止協会　専務理事

安藤　眞博　　〃　　事業部長
高野　　修　　〃　　事業部　副部長
檜ヶ谷正道　　〃　　事業部　主任研究員
山田　福市　　株式会社ＭＯＬマリン　代表取締役専務
杉山　直樹　　〃　　海洋技術事業部
海洋技術コンサルティング一部 主任研究員
濱木　欣一　　〃　　海洋技術事業部
海洋技術コンサルティング一部 主任研究員

1－4　第２回委員会

(1) 開 催 日：平成 27 年３月 30 日(月)
(2) 場　　所：富山市　ＡＮＡクラウンプラザホテル富山
(3) 出 席 者：別記のとおり
(4) 議　　題：
① 第１回委員会における質疑・対応について
② ビジュアル操船実験結果について
③ 係留の安全性の検討について
④ 航行安全対策について
⑤ 報告書の構成案について

別　記

出席者名簿

（順不同・敬称略）

「委　員」
委員長　日當　博喜　　海上保安大学校　名誉教授
遠藤　　真　　富山高等専門学校　教授
久古　弘幸　　一般社団法人日本船長協会　副会長
神田　修二　　伏木水先区水先人会　会長
矢後　則男　　伏木水先区水先人会　副会長
針山　健二　　伏木海陸運送株式会社　代表取締役社長
矢富　邦昌　　北陸海事株式会社　代表取締役社長
「関係官公庁」
岡村　秀貴　　第九管区海上保安本部　交通部　企画調整官
金谷　英明　　〃　　〃　　安全課　海務係長
守橋　清隆　　伏木海上保安部　次長
寺田　　忠　　〃　　交通課　航行管理官付
山本　大志　　北陸地方整備局　伏木富山港湾事務所長
舘下　　徹　　〃　　伏木富山港湾事務所　企画調整課長

「事務局」

安藤　眞博　　公益社団法人日本海海難防止協会　事業部長
高野　　修　　〃　　事業部　副部長
檜ヶ谷正道　　〃　　事業部　主任研究員
花棚　景子　　〃　　〃　　調査員
山田　福市　　株式会社ＭＯＬマリン　代表取締役専務
濱木　欣一　　〃　　海洋技術事業部
海洋技術コンサルティング一部　主任研究員

２　新潟港（東港）大型客船入出港に係る航行安全調査

2－1　第１回調査会

(1) 開 催 日：平成 27 年１月 20 日（火）
(2) 場　　所：新潟市　ＡＮＡクラウンプラザホテル新潟
(3) 議　　題：
① 大型クルーズ客船入港計画について
② 調査検討の計画について
③ 新潟港の現状について
④ 航行環境について
⑤ 操船に係る基礎的検討について
⑥ 操船シミュレーションによる検討について

別　記

出席者名簿

（順不同・敬称略）

「委　員」

委員長　大津　皓平　　東京海洋大学　名誉教授
㈹久古　弘幸　　一般社団法人日本船長協会　副会長
㈹小島　　茂　　〃　　会長
西村　陽造　　新潟水先区水先人会　会長
武石　実徳　　新潟港船舶代理店会　事務局
（株式会社リンコーコーポレーション東港支社　船舶業務部長）
伊藤　則彦　　日本海曳船株式会社　常務取締役

「関係官公庁」

伊藤　恒治　　第九管区海上保安本部　交通部長
金谷　英明　　〃　　交通部　安全課　海務係長
佐々木忠男　　新潟海上保安部　次長
関口　史洋　　〃　　交通課　専門官

山之内哲也　　北陸地方整備局　新潟港湾・空港整備事務所　副所長
川端　　昇　　新潟地方気象台　気象防災情報調整官

「事務局」

桑島　　廣　　公益社団法人日本海海難防止協会　専務理事
安藤　眞博　　〃　　事業部長
高野　　修　　〃　　事業部　副部長
檜ヶ谷正道　　〃　　〃　　主任研究員
花棚　景子　　〃　　〃　　調査員
仙田　晶一　　株式会社ＭＯＬマリン　海洋技術事業部
操船シミュレータ部長
岩永　恵子　　〃　　海洋技術事業部
海洋技術コンサルティング一部　研究員

2－2　第１回ビジュアル操船実験

(1) 開 催 日：平成 27 年１月 28 日(水)～29 日(木)
(2) 場　　所：東京都　株式会社ＭＯＬマリン

2－3　作業部会

(1) 開 催 日：平成 27 年３月 12 日(木)
(2) 場　　所：新潟市　ＡＮＡクラウンプラザホテル新潟
(3) 議　　題：
① 第１回調査会の質疑・対応について
② ビジュアル操船実験結果について
③ 係留の安全性の検討について

別　記

出席者名簿

(順不同・敬称略)

「委　員」

部会長　久古　弘幸　　一般社団法人日本船長協会　副会長
西村　陽造　　新潟水先区水先人会　会長

「関係官公庁」

佐藤　　博　　第九管区海上保安本部　交通部　安全課長
竹原　圭佑　　〃　　交通部　安全課　海務係
佐々木忠男　　新潟海上保安部　次長
関口　史洋　　〃　　交通課　専門官

「事務局」

桑島　　廣　　公益社団法人日本海海難防止協会　専務理事
安藤　眞博　　〃　　事業部長
高野　　修　　〃　　事業部　副部長
檜ヶ谷正道　　〃　　〃　　主任研究員
花棚　景子　　〃　　〃　　調査員
仙田　晶一　　株式会社ＭＯＬマリン　海洋技術事業部
操船シミュレータ部長
岩永　恵子　　〃　　海洋技術事業部
海洋技術コンサルティング一部　研究員

2－4　第２回調査会

(1) 開 催 日：平成 27 年３月 26 日(木)
(2) 場　　所：新潟市　ＡＮＡクラウンプラザホテル新潟
(3) 議　　題：
① 第１回調査会の質疑・対応について
② ビジュアル操船実験結果について
③ 係留の安全性の検討について

別　記

出席者名簿

（順不同・敬称略）

「委　員」

委員長　大津　皓平　　東京海洋大学　名誉教授
久古　弘幸　　一般社団法人日本船長協会　副会長
西村　陽造　　新潟水先区水先人会　会長
武石　実徳　　新潟港船舶代理店会　事務局
（株式会社リンコーコーポレーション東港支社　船舶業務部長）
㈫伊藤　則彦　　日本海曳船株式会社　常務取締役

「関係官公庁」

伊藤　恒治　　第九管区海上保安本部　交通部長
金谷　英明　　〃　　交通部　安全課　海務係長
佐々木忠男　　新潟海上保安部　次長
関口　史洋　　〃　　交通課　専門官
朝岡　正典　　北陸地方整備局　新潟港湾・空港整備事務所
第四建設監理官室　先任建設監理官
川端　　昇　　新潟地方気象台　気象防災情報調整官

「事務局」

安藤　眞博　　公益社団法人日本海海難防止協会　事業部長
高野　　修　　〃　　事業部　副部長
檜ヶ谷正道　　〃　　〃　　主任研究員
花棚　景子　　〃　　〃　　調査員
仙田　晶一　　株式会社ＭＯＬマリン　海洋技術事業部
操船シミュレータ部長
岩永　恵子　　〃　　海洋技術事業部
海洋技術コンサルティング一部　研究員

2－5　第２回ビジュアル操船実験

(1) 開 催 日：平成 27 年４月 27 日(月)
(2) 場　　所：東京都　株式会社ＭＯＬマリン

３　福井港堆砂対策計画に係る航行安全対策検討

3－1　第２回作業部会

(1) 開 催 日：平成 27 年１月 22 日(木)
(2) 場　　所：福井市　福井県庁　会議室
(3) 出 席 者：別記のとおり
(4) 議　　題：
① 第２回委員会の質疑・対応について
② ビジュアル操船実験結果について
③ 航行の安全性について

別　記

出席者名簿

（順不同・敬称略）

「委　員」

委員長　寺本　定美　　海上保安大学校　名誉教授
三反崎紀夫　　福井県水先人会　福井港水先人

「関係官公庁」

三宅　光成　　第八管区海上保安本部　交通部　安全課長
金城　弘明　　〃　　〃　　安全課　海務係長
寺﨑　真司　　敦賀海上保安部　交通課長
水田　秀明　　〃　　交通課　安全係長
長谷川邦久　　福井海上保安署　次長

「事務局」

桑島　　廣　　公益社団法人日本海海難防止協会　専務理事
安藤　眞博　　〃　　事業部長
檜ヶ谷正道　　〃　　事業部　主任研究員

「関係者」

山田　福市　　株式会社ＭＯＬマリン　代表取締役専務
杉山　直樹　　〃　　海洋技術事業部
海洋技術コンサルティング一部　主任研究員

3－2　第３回委員会

(1) 開 催 日：平成 27 年２月 12 日(木)
(2) 場　　所：福井市　ユアーズフクイ
(3) 出 席 者：別記のとおり
(4) 議　　題：
① 第２回委員会の質疑・対応について
② ビジュアル操船実験結果について
③ 航行の安全性について
④ 報告書の構成(案)について

別　記

出席者名簿

(順不同・敬称略)

「委　員」

委員長　寺本　定美　　海上保安大学校　名誉教授
久古　弘幸　　一般社団法人日本船長協会　副会長
三反崎紀夫　　福井県水先人会　福井港水先人
出蔵　正彦　　株式会社三国　海事部長
森田　正守　　福井埠頭株式会社　代表取締役社長
古橋　光成　　福井港石油基地管理委員会　代表幹事
(ジャパンオイルネットワーク株式会社福井油槽所長)
中川　浩一　　福井県漁業協同組合連合会　参事
山本　時夫　　福井県小型船交通安全対策協議会　事務局長

「関係官公庁」

宮林　幸男　　第八管区海上保安本部　交通部　企画調整官
三宅　光成　　〃　　〃　　安全課長
金城　弘明　　〃　　〃　　安全課　海務係長
岡田　衆象　　敦賀海上保安部　次長
宮本　英哉　　〃　　交通課　航行管理官
植田　伸庫　　福井海上保安署長

大下　善幸　　北陸地方整備局　敦賀港湾事務所　副所長
吉岡　典哉　　福井地方気象台　次長

「事務局」

桑島　　廣　　公益社団法人日本海海難防止協会　専務理事
安藤　眞博　　〃　事業部長
檜ヶ谷正道　　〃　事業部　主任研究員
花棚　景子　　〃　〃　調査員

「関係者」

山田　福市　　株式会社ＭＯＬマリン　代表取締役専務
杉山　直樹　　〃　海洋技術事業部
海洋技術コンサルティング一部　主任研究員

４ 秋田港大型客船入出港に係る航行安全調査

4－1　ビジュアル操船実験

(1) 開 催 日：平成 27 年２月 18 日(水)～19 日(木)
(2) 場　　所：東京都　株式会社ＭＯＬマリン

4－2　作業部会

(1) 開 催 日：平成 27 年４月７日(火)
(2) 場　　所：秋田市　ホテルメトロポリタン秋田
(3) 出 席 者：別記のとおり
(4) 議　　題：
① 第１回委員会の質疑・対応について
② ダイヤモンド・プリンセスの操船実験結果について
③ セレブリイティ・ミレニアムの安全性について
④ 係留の安全性の検討について
⑤ 航行安全対策案について

別　記

出席者名簿

(順不同・敬称略)

「委　員」

部会長　池田　英治　　海上保安大学校　名誉教授
高橋　福治　　秋田船川水先区水先人会　副会長

「関係官公庁」

東　　武　　第二管区海上保安本部　交通部　安全課長
山﨑　裕也　　〃　〃　安全課　海務係

山口　雅弘　　秋田海上保安部　次長
田中　良喜　　〃　　交通課長

「事務局」

安藤　眞博　　公益社団法人日本海海難防止協会　事業部長
高野　　修　　〃　　事業部　副部長
檜ヶ谷正道　　〃　　〃　　主任研究員
花棚　景子　　〃　　〃　　調査員
仙田　晶一　　株式会社ＭＯＬマリン　海洋技術事業部
操船シミュレータ部長
岩永　恵子　　〃　　海洋技術事業部
海洋技術コンサルティング一部　研究員

4－3　第２回委員会

(1) 開 催 日：平成 27 年４月 15 日(水)
(2) 場　　所：秋田市　ホテルメトロポリタン秋田
(3) 出 席 者：別記のとおり
(4) 議　　題：
① 第１回委員会の質疑・対応について
② ダイヤモンド・プリンセスの操船実験結果について
③ セレブリイティ・ミレニアムの安全性について
④ 係留の安全性の検討について
⑤ 航行安全対策について
⑥ 調査結果及び報告書構成案について

別　記

出席者名簿

(順不同・敬称略)

「委　員」

委員長　大津　皓平　　東京海洋大学校　名誉教授
池田　英治　　海上保安大学校　名誉教授
久古　弘幸　　一般社団法人日本船長協会　副会長
高橋　福治　　秋田船川水先区水先人会　副会長
谷村　　学　　秋田海陸運送株式会社　営業部　営業二課長
鎌田　博道　　日本通運株式会社秋田港支店　支店長
二田　隆夫　　秋田曳船株式会社　取締役海務部長

「関係官公庁」

和田　卓也　　第二管区海上保安本部　交通部　企画調整官
守屋　研一　　〃　　〃　　安全課　安全対策調整官

米川　弘晃　　秋田海上保安部長
田中　良喜　　〃　　交通課長
豊若　俊介　　〃　　交通課　安全係長
新田　邦彦　　東北地方整備局　港湾空港部　港湾計画課　課長補佐
遠藤　　源　　東北地方整備局　秋田港湾事務所長
高内　寛義　　秋田地方気象台　防災気象官

「事務局」
安藤　眞博　　公益社団法人日本海海難防止協会　事業部長
高野　　修　　〃　　事業部　副部長
檜ヶ谷正道　　〃　　〃　　主任研究員
花棚　景子　　〃　　〃　　調査員
仙田　晶一　　株式会社ＭＯＬマリン　海洋技術事業部
操船シミュレータ部長
岩永　恵子　　〃　　海洋技術事業部
海洋技術コンサルティング一部　研究員

５ 日本海中部海域における小型船舶の安全対策に関する調査研究（新潟県地区）

第２回委員会

(1) 開 催 日：平成 27 年３月５日（木）
(2) 場　　所：新潟市　ＡＮＡクラウンプラザホテル新潟
(3) 出 席 者：別記のとおり
(4) 議　　題：
① アンケート調査の結果について
② 平成 26 年における海難防止活動の状況について
③ 小型船舶の海難防止対策について
④ 調査・研究の成果について

別　記

出席者名簿

（順不同・敬称略）

「委　員」
委員長　日當　博喜　　海上保安大学校　名誉教授
佐藤　　忠　　日本小型船舶検査機構　新潟支部　支部長
西村　陽造　　新潟水先区水先人会　会長
清田　邦之　　新潟県漁業協同組合連合会　専務理事
樋口　紀夫　　信濃川係船組合　組合長
重野　正紀　　新潟県小型船安全協会　直江津支部長

「関係官公庁」

伊藤　恒治	第九管区海上保安本部	交通部長
桜川　正人	〃	交通部　安全課　専門官
佐々木忠男	新潟海上保安部	次長
木下　善貴	〃	交通課　安全係長
相場　　斉	上越海上保安署長	
刀根　慶三	佐渡海上保安署長	
斎藤　昌志	北陸信越運輸局海事部	船員労働環境・海技資格課長
佐々木　亨	水産庁　新潟漁業調整事務所長	
川端　　昇	新潟地方気象台	気象防災情報調整官
（欠）	新潟県農林水産部	水産課

「事務局」

桑島　　廣	公益社団法人日本海海難防止協会	専務理事
安藤　眞博	〃	事業部長
高野　　修	〃	事業部　副部長
檜ヶ谷正道	〃	〃　主任研究員
花棚　景子	〃	〃　調査員

Ⅱ　会 務 報 告

Ⅱ－１　平成 26 年度第２回理事会

１　開 催 日：平成 27 年３月 17 日(火)

２　場　　所：新潟市中央区万代５丁目 11 番 20 号
　　ＡＮＡクラウンプラザホテル新潟

３　理事の現在数、出席者数

(1) 理事の現在数　　23 名

(2) 出席者数

イ　出席理事　　16 名

ロ　監　事　　2 名

ハ　事務局　　1 名

４　議事次第

議　　案　第１号議案　特定費用準備資金等取扱規程の制定について
　　第２号議案　特定費用準備資金の保有について
　　第３号議案　平成 27 年度事業計画について
　　第４号議案　平成 27 年度収支予算等について

報告事項　業務執行理事の職務執行の状況について

Ⅱ－２ 業 務 日 誌 抄

（平成 27 年１月～４月まで）

月　　日	内　　容
１月 13 日（火）	伏木富山港（伏木地区）大型客船入出港に係る航行安全調査 第１回委員会　（富山市）
１月 20 日（火）	新潟港（東港）大型客船入出港に係る航行安全調査 第１回調査会　（新潟市）
１月 22 日（木）	福井港堆砂対策計画に係る航行安全対策検討　第２回作業部会（福井市）
１月 26 日（月） ～ 27 日（火）	伏木富山港（伏木地区）大型客船入出港に係る航行安全調査 ビジュアル操船実験　（東京都）
１月 28 日（水） ～ 29 日（木）	新潟港（東港）大型客船入出港に係る航行安全調査 第１回ビジュアル操船実験　（東京都）
２月 12 日（木）	福井港堆砂対策計画に係る航行安全対策検討　第３回委員会　（福井市）
２月 18 日（水） ～ 19 日（木）	秋田港大型客船入出港に係る航行安全調査 ビジュアル操船実験　（東京都）
３月　５日（木）	日本海中部海域における小型船舶の安全対策に関する調査研究（新潟県地区）　第２回委員会　（新潟市）
３月　６日（金）	伏木富山港（伏木地区）大型客船入出港に係る航行安全調査 作業部会　（富山市）
３月 12 日（木）	新潟港（東港）大型客船入出港に係る航行安全調査　作業部会　（新潟市）
３月 17 日（火）	平成 26 年度第２回理事会　（新潟市）
３月 26 日（木）	新潟港（東港）大型客船入出港に係る航行安全調査 第２回調査会　（新潟市）
３月 30 日（月）	伏木富山港（伏木地区）大型客船入出港に係る航行安全調査 第２回委員会　（富山市）
４月　７日（火）	秋田港大型客船入出港に係る航行安全調査　作業部会　（秋田市）
４月 15 日（水）	秋田港大型客船入出港に係る航行安全調査　第２回委員会　（秋田市）
４月 27 日（月）	新潟港（東港）大型客船入出港に係る航行安全調査 第２回ビジュアル操船実験　（東京都）
４月 28 日（火）	平成 26 年度の決算の書類等の監査　（協会事務室）

Ⅱ－３　業　務　予　定

⑴ 平成 27 年度第１回理事会　　５月 19 日　新潟市

⑵ 平成 27 年度事業推進連絡会議　　６月　３日　新潟市

⑶ 新潟港（東港）大型客船入出港に係る航行安全調査　第２回作業部会
６月　８日　新潟市

⑷ 日本海中部地方海難防止強調運動推進連絡会議
６月 12 日　新潟市

⑸ 海難防止強調運動日本海西部地方推進連絡会議　　６月 16 日　舞鶴市

⑹ 平成 27 年度第１回通常総会　　６月 22 日　新潟市

⑺ 平成 27 年度第２回理事会　　６月 22 日　新潟市

⑻ 新潟港（東港）大型客船入出港に係る航行安全調査　第３回調査会
６月 25 日　新潟市

⑼ 会報 第 115 号発行　　８月下旬

Ⅲ　寄　稿　欄

舞鶴の神様たち（鵜葺草葺不合命（うがやふきあえずのみこと））

元舞鶴事務所長　山本　勝眞

舞鶴市は、リアス式の地形のため山によって東、西、中の三つの地区に分かれています。

その中の西地区は、国道 27 号線を京都から来ると最初の地区になる街で、明治以後に発展した、東、中地区に比べるとその歴史は古く、関ヶ原以前は、細川家の所領、後には京極家、牧野家がおさめた城下町です。

ＪＲ西舞鶴駅から 27 号線を少し北に下った南田辺地区は、旧田辺城蹟、舞鶴市西支所、舞鶴警察署、裁判所、検察庁、それに藩校だった明倫小学校などがあり西地区の中心地になっています。

鸕鷀神社石碑

その中心地、舞鶴警察署と明倫小学校に挟まれた一角に、今回話題の「**鸕鷀神社**」はひっそりと鎮座されています。

もともとは、広大な境内のあった神社だったようですが、天正の時代、細川家がこの地に築城する際、境内に取り込まれたということで、神社の裏側（国道 27 号線側）に石垣が残っています。

市街の中心地にありながら、あまり訪れる人もなく、私がこれまで幾度か境内に足を踏み入れた際も、お参りの人を見かけたことがありません。

でも、境内は、きれいに清掃されていて、神社の建物などの保存状態もいいので、「氏子さんたちにしっかり守られているのだなぁ～。」ということがよくわかります。

神社名は、石碑には「**鸕鷀神社**」とありますが、これを「うの森神社」と読むのだと説明書きがされていました。

神社は、東向きに石の鳥居があり、境内へのアプローチは北側、つまり鳥居の向きに対して直角に入る形になっています。

鳥居は、神明型、拝殿・本殿の向きは平入り（棟に対して直角に入口がある形式）の神社です。

まさしく、伊勢神宮（日向系）と同じ形式ですね。

御祭神は、天津日高日子波限建鵜葺草葺不合命（あまつひたかひこなみはやだけうがやふきあえずのみこと）という神様でありまして、古事記上巻の「海幸・山幸綿津見の宮」の項の最後のほうで、火遠理命（ほおりのみこと）（海幸彦）と豊玉毘売命（とよたまびめのみこと）の間にお生れになった御子であるということが書かれています。

鸕鷀神社鳥居

（古事記原文）

『於是思奇其言、竊伺其方產者、化八尋和邇而、匍匐委蛇。卽見驚畏而遁退。爾豐玉毘賣命、知其伺見之事、以爲心恥、乃生置其御子而、白「妾恒通海道欲往來。然伺見吾形、是甚怍之。」卽塞海坂而返入。是以、名其所產之御子謂**天津日高日子波限建鵜葺草葺不合命**』

漢文で大変読みづらいですが、言うところは、

『豊玉毘売命がお子をお産みになるとき、大きなワニにお姿を変え、のたうちまわっておられた。（火遠理命は）驚いて逃げ出してしまわれたので、豊玉比売命は、それを恥じて海へ帰って行かれた。（お生れになった御子の名は、アマツヒダカヒコナギサタケウガヤフキアエズノミコトという。』

とのことであります。

「鵜草葺不合」は、産室の屋根がまだ葺きあがっていないときに産気づかれたというところが、上記原文の前に書かれていて、そこからお名がつけられたのだとい

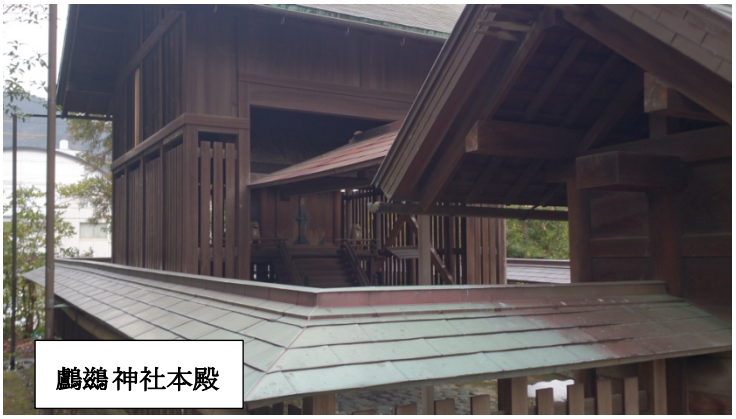
うのが、古事記のこのくだりです。

多少、お話が深入りしすぎた感はありますが、つまりは、**鸕鷀神社**には、そうした神様を祀ってあるということであります。

古事記のうえでは、**鵜葺草葺不合命**は、天照大神のお孫さんということになりますが、実際は、天照大神（大日霊女貴命）の御子様（末子）という説（原田常治氏の説で、筆者はこちらのほうを指示しています。）もあります。いずれにせよ、初代神武天皇のお父様であります。

鸕鷀神社拝殿

ちなみに古事記では、諡号に「建」とありこれを「たけ」と読ませていますが、日本書紀では**彦波瀲武鸕鷀草葺不合命**とあり「武」の字をあててありますので武勇に優れた神様でもあったとおもわれます。


鸕鷀神社本殿

別名を、熊野楠日尊ともうされ、全国に点在する「熊野」と名がつく神社と同じ名前がついていることに何かを感じるわけであります。

つまり、この神様は、日向系の神様でありながら、あだ名に出雲系素戔嗚尊（諡号「神祖熊野大神奇御食野尊」）の名がついているということを大いに主張したいわけであります。

かねがね、素戔嗚命は大日霊女貴命と深い関係（夫婦）があったと申してきましたが、このこともそうした考察の根拠のひとつなのです。

＜お詫びと訂正＞

前回の項で伊奘諾尊・伊奘冉尊のお二人が天の浮橋から「**天逆鉾**」で最初の島を作られたこをと紹介しましたがこれは間違いで、「**天沼矛**（あめのぬほこ）」が正しいところであります。訂正してお詫びします。

この稿を執筆中に、日本海海難防止協会桑島専務理事の突然の訃報を受けました。筆者が現役（第六管区海上保安本部船舶技術部長）時代、桑島氏は同本部海洋情報部長をしておられ、ともに働いておりました。

日本海海難防止協会舞鶴事務所長として勤務していた折も、大変お世話になった人で、突然の訃報には言葉もありません。

深く御冥福を祈る次第であります。

Ⅳ　連　絡　事　項

☆会員名簿の変更

現在発行している会員名簿の変更です。

○　指定代表者等の変更

頁	会　社・団　体　名	指定代表者職氏名	担当者職氏名
17	青森県漁業協同組合連合会	代表理事会長 赤　石　憲　二	笹　原　秀　行
〃	ジャパンオイルネットワーク㈱	青森油槽所所長 助　田　守　弘	青森油槽所所長代理 盛　　光　博
〃	㈱青洋建設	代表取締役 髙　橋　弘　一	常務取締役 柴　崎　義　信
〃	齋勝建設㈱	代表取締役 齋　藤　彰　浩	車輌課長 菊　池　博　治
〃	電源開発㈱	大間原子力発電所所長 楠　瀬　昌　作	大間原子力建設所総務グループ 有　川　和　孝
〃	秋田海陸運送㈱	代表取締役社長 西　宮　公　平	営業二課長 谷　村　　学
18	ＪＸ日鉱日石エネルギー㈱	秋田油槽所長 藤　原　　弘	油槽所グループリーダー 佐　藤　英　政
〃	日本製紙㈱	秋田工場長 吉　田　彰　彦	秋田工場事務部長代理 福　永　　明
〃	㈱男鹿テクノ	代表取締役社長 木　下　　勉	総務担当 佐々木　　孝
19	宇部三菱セメント㈱	東北支店常務取締役支店長 遠　藤　悦　郎	東北支店物流・施設グループ課長 村　儀　拓　弥
20	酒田石油基地協議会	会長（東西オイルターミナル㈱酒田油槽所所長） 佐　藤　勝　彦	
〃	酒田水先区水先人会	会長 松　浦　安　洋	
〃	㈱平尾工務店	代表取締役 平　尾　　彰	取締役土木工事部第一部長 髙　橋　　司
〃	山形県漁業協同組合	代表理事組合長 五十嵐　安　哉	指導課 齋　藤　佑　紀
21	旭カーボン㈱	代表取締役社長 大　橋　牧　夫	営業部生産物流課長 丸　山　泰　輔
〃	海洋運輸㈱	代表取締役社長 安　藤　智　文	管理部課長代理 大　西　一　彦

頁	会　社・団　体　名	指定代表者職氏名	担当者職氏名
21	佐渡汽船㈱	常務取締役海務部長 佐　藤　賢　一	総務部次長 土　屋　　亨
〃	昭和シェル石油㈱	新潟石油製品輸入基地所長 中　西　一　則	新潟石油製品輸入基地操油課長 今　泉　善　博
〃	大和探査技術㈱	新潟支店支店長 落　合　彰　二	
〃	東亜建設工業㈱	北陸支店支店長 木　村　好　孝	北陸支店安全環境室長 八　川　勝　志
〃	東西オイルターミナル㈱	東新潟油槽所長 小　柳　一　義	東新潟油槽所所長代理 齋　藤　　伸
22	東和造船㈱	代表取締役 五十嵐　由　之	専務取締役 横　山　達　夫
〃	新潟日通運輸㈱	代表取締役 関　　義　輔	東港事業所所長 松　本　宏　則
23	㈱和田商会	取締役社長 和　田　晋　弥	石油営業部営業二課課長 大　倉　光　夫
24	粟島汽船㈱	代表取締役社長 本　保　建　男	運航課長 本　保　光　一
25	直江津港湾協会	会 長 村　山　秀　幸	事務局長 （上越市産業観光部産業立地課長） 渡　辺　富士雄
〃	上越漁業協同組合	代表理事組合長 磯　谷　光　一	参 事 小　野　清　隆
〃	㈱谷村建設	代表取締役社長 渡　邊　　孝	建設本部土木部次長 村　上　　満
〃	姫川港利用者協議会	会 長 狩　野　利　春	事務局長 原　　豊
26	川崎汽船㈱	代表取締役社長 村　上　英　三	安全運航グループ安全運航チーム長 菅　野　　亘
〃	日本郵船㈱	専務経営委員 赤　峯　浩　一	経営委員 後　藤　湖　舟
〃	㈱ゼニライトブイ	東京営業所所長 村　上　義　治	岡　村　直　興
〃	㈱商船三井	専務執行役員 根　本　正　昭	海上安全部長 加　藤　雅　徳
27	竹中産業㈱	富山港油槽所所長 津　幡　俊　男	課 長 中　田　浩　司
〃	高岡水曜会	中越パルプ工業㈱ 執行役員高岡工場長 地　蔵　繁　樹	中越パルプ工業㈱高岡工場 総務人事部調査役 脇　田　　歩
〃	伏木海陸運送㈱	代表取締役社長 針　山　健　二	取締役総務部長 林　　延　佳

頁	会　社・団　体　名	指定代表者職氏名	担当者職氏名
27	北陸海事㈱	取締役社長 矢　富　邦　昌	取締役社長 矢　富　邦　昌
28	富山新港港湾振興会	会長(射水市長) 夏　野　元　志	主 事 塚　元　一　太
〃	北陸電力㈱	富山新港火力発電所所長 小　川　一　彦	業務課 坂　　裕　子
〃	石川県漁業協同組合	代表理事組合長 小　川　　栄	企画指導部長 青　山　邦　洋
〃	金沢港北地区特別防災区域協議会	会 長 (キグナス石油㈱金沢油槽所所長) 中　野　一　郎	共同防災センター所長 西　　勝　広
29	七尾水先区水先人会	会 長 木　下　　博	
30	福井石油備蓄㈱	常務取締役福井事業所長 今　西　　正	福井事業所副所長(技術担当) 西　　徹　明
〃	日動海運㈱	代表取締役 小　堀　八寿雄	
31	小浜市水産振興会	会 長 松　見　茂　嗣	事務局 樽　谷　宏　和
32	大山砕石㈱	代表取締役 西　村　　彰	笹　原　朝　子
〃	京都府漁業協同組合	代表理事組合長 西　川　順之輔	総務部長 藤　田　克　己
〃	宮津海陸運輸㈱	代表取締役社長 野　田　真　人	運輸部長 今　井　克　彦
33	但馬漁業協同組合	代表理事組合長 眞　野　　豊	参 事 竹　内　正　弘
34	共和水産㈱	代表取締役社長執行役員 白　須　邦　夫	執行役員海務部長 江　尻　敏　美
〃	山陰旋網漁業協同組合	代表理事組合長 相　田　　仁	専務理事 米　村　健　治
〃	田後漁業協同組合	代表理事組合長 田　渕　幸　一	参 与 船　木　浩　市
35	浜田港振興会	会 長 久保田　章　市	事務局次長 吉　村　忠　浩

○　代表者等の変更

頁	会　社・団　体　名	代表者職氏名	担当者職氏名
37	ＥＮＥＯＳグローブガスターミナル㈱ 青森ガスターミナル	所 長 水　野　龍　夫	所長代理 筒　井　清　博
38	日本通運㈱富山港支店	支店長 正　村　　靖	海運課代理店係係長 新　鞍　克　暢
〃	太平洋セメント㈱中部北陸支店	支店長 岡　本　高　明	北陸セメント営業部 城　野　耕　治
〃	東洋建設㈱北陸支店	支店長 伊　藤　史　朗	工事部長 地　田　英　樹
〃	ＥＮＥＯＳグローブガスターミナル㈱ 七尾ガスターミナル	所 長 久米田　敏　明	所長代理 古　本　正　栄
39	日本通運㈱舞鶴支店	支店長 安　達　久　和	舞鶴海運支店長 沖　野　　智
〃	中国電力㈱島根原子力発電所	所 長 北　野　立　夫	総務課長 今　田　和　男
〃	中国電力㈱三隅発電所	発電所長 藤　本　　均	総務課課長代理 大　畑　　進

○　住所等の変更

頁	会 社 ・ 団 体 名	住　　所	電　話
27	高岡水曜会	〒933-8533 富山県高岡市米島 282 中越パルプ工業㈱高岡工場内	0766-26-2405